

News Letter

世界に賛美と福音を

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ

<http://akworship.com/>

Vol.72

WINTER
2019



AKWM

(旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ)

永遠への希望

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 代表

工藤 篤子

この希望は失望に終わることがありません。
(ローマ人への手紙5章5節)



35年の欧州生活に幕を閉じ、昨年5月に本帰国してから、私は、2つの「生まれて初めて」を体験しました。ひとつは、6月の大阪北部地震、もうひとつは、今世紀最強と言われる、8月下旬から9月初めにかけて日本を縦断した台風21号です。あれほどの大きな地震と台風は生まれて初めてでした。そのほか、西日本豪雨、猛暑、北海道胆振東部地震など、日本は、3.11以来、北から南まで、被害を受けなかったところはない状態になりました。日本だけでなく、世界中が加速度を増して崩壊へと向かい、道徳的にも罪が満ち、墮落した世界へと向かっています。それが、今の現実であると思います。しかし、私たちの最終的な目的地がこの世ではないことを神に感謝します。

神は、いつか、この地だけでなく、天をも揺り動かすと語っています。それは、決してなくならないものが残るためであり、神に従う者たちが、「永遠」という、決して揺るがされることのない世界に入れられるためです。それが「天国」と呼ばれるところであり、私たちの時間の概念では理解できない、永遠の世界です。

ヘブル人への手紙13章14節には、「私たちは、この地上に永遠の都を持っているのではなく、むしろ後に来ようとしている都を求めているのです。」と書かれています。この地上は一時的な場所であり、私たちの目的地は「永遠」です。この「永遠」に向かう時、この地上の患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い栄光をもたらす、意味のあるものとなって行きます。

今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。

(IIコリント4:17-18)

それは、患難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性(人格)を生み出し、練られた品性(人格)が永遠の希望を生み出すことを、コリント人への書簡を書いたパウロは良く知っていたからです。この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:3-5)

数年前までは、イエスの再臨はまだずっと先のことだと思っていました。けれども、聖書に書かれている世の終わりの預言が急ピッチで実現し始めた今、主の来られる日がもう間近に迫っているように思えてなりません。そして、昨年末、祈りの中で心に響いて来たのが、「頭に灰をかぶり悔い改めよ。神の国は近づいたから。」でした。私のなすべきことは、日々の罪を聖霊の火で焼き尽くしていただき、その灰を頭にかぶり、へりくだって主に仕え、主の来臨に備えること。同時に、祭司として人々の罪を自分の罪としてとりなしの祈りをささげ、救いと永遠への希望を伝えて行くことであると思わされています。2019年、主がAKWMに恵みと祝福を注いで下さり、神のみこころを行い伝える忠実な団体としてくださいますよう、お祈りお支えください。

英国の賛美 2 御前に立つとき

妹の受洗と「御前に立つとき」

昨年の帰国後の一番大きなプレゼントは、妹の受洗でした。妹にとって、礼拝に行く楽しみのひとつは、大きな声で讃美歌が歌えることです。知的障害者の妹は歌が大好きで、3度聞くとその曲を覚えてしまうという、特別な才能があります。そして、礼拝では、全く知らない歌でも、伴奏の音を聞きながら、ほぼ正確に大きな声で歌います。そこで、妹の洗礼のお祝いに、教会福音讃美歌集とCDをプレゼントしました。そのCDと一緒に聞きながら、心に深く響いた一曲がありました。それは、「御前に立つとき」(教会福音讃美歌316番)という讃美歌でした。ドイツの教会で、ポップス調のギター伴奏で歌って来たものですが、CDの、フェリス・フラウエンコーアが歌う美しい日本語訳の合唱賛美を聞いた時、大祭司として私たちをとりなしてくださる主の愛が迫ってきたのです。歌詞の意味がどこまで理解できたのかは分かりませんが、妹も、「すごくいい歌だね」と感動して聞き入りました。

御前に立つとき

Charitie Bancroft 作詞、土井康司 日本語訳

1. 御前に立つとき 私のとなりに
とりなしを担う 愛の大祭司
私の名前は その手に刻まれ
私を天から 引き離すことは 誰にもできない
2. ころみ激しく 罪に誘うとき
目を上げて見れば そこに主の姿
罪なき主は死に 罪ある私は 赦され満たされ
ただ主を見上げる ただ主を見上げる
3. 小羊 主イエスは 常に義なる方
変わることはない めぐみあるお方
主の血で買われた 私の魂
私の命は キリストのもとに かくまわれている

数年前に凶らずも霊の戦いのフィールドに立たされ、神のみことばの宣言とイエス・キリストの勝利を告白することにどれほどの力があるかを体験するようになりました。以来、毎日のように宣言し告白しているのが、ヘブル人への手紙3章1節からの、「イエスは私たちの天の大祭司である」です。

サタンは神の子どもたちを罪悪感に陥れようと、絶えず攻撃しています。サタンという名は、「訴える者」という意味です。しかし、日々の罪を告白するなら、小羊イエスの血潮により、私たちは赦され、きよめられて、大胆に主の御前に立つことができます。そこでは、敵がどんなに私たちに訴えようとしても、勝利者であり、天の大祭司であるイエスが私たちの側に立ち、とりなしてくださるのです。ですから、サタンの攻撃を恐れる必要はありません。そのことを皆さんにもお伝えしたいと思い、昨年秋のコンサートでは、この曲をプログラムに加えるようになりました。

チャリティー・バンクロフト

作詞者のチャリティー・バンクロフトは、1841年、ダブリン州メリオンのブルームフィールドで、アイルランド国教会(聖公会)のジョージ・シドニー・スミス牧師の娘として生まれ、若い頃から詩作の才能に恵まれました。



チャリティー・バンクロフト

1859年、北アイルランドで、「アルスター・リバイバル」と呼ばれる信仰復興が起きました。アントリム州のケルズとコナーで始まったリバイバルは、北アイルランドのほかの地域にも広がり、多くがカトリック信者で占めていたアイルランドの10万人が生きた信仰に目覚めました。きっかけは、1857年に4人の信仰者がケルズ国立学校の一室で始めた祈り会

このニュースレターは、次の方々のご支援をいただいています。

**VIP関西センター
テナントビル**

地下鉄北浜駅②号出口正面

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-3-10
TEL.06-6232-1185 担当者:梅津

医療法人
クリニック石田

診療科目 / 耳鼻咽喉科

〒558-0055
大阪市住吉区万代3-12-5
ハイムスタイン2階

南海高野線、帝塚山駅下車 / 徒歩10分
阪堺軌道鉄道上町線、帝塚山3丁目下車 / 徒歩5分
大阪府立急性期医療センター前 / 北に徒歩3分

TEL.06-6676-1700
院長:石田 稔
http://www.eonet.ne.jp/~clinic-ishida/

オフィス家具全般

(有)吉屋

〒558-0014
大阪府大阪市
住吉区我孫子5-4-13
TEL 06-6699-2415

ミクニカイ株式会社
水とエネルギー

本社 〒532-0033
大阪市淀川区新高3丁目7番9号
TEL(06)6394-0671
FAX(06)6394-0710
E-mail:sakamotot@mikunikikai.com
URL:http://www.mikunikikai.com

**atelier
phos**
DESIGN < > WORK
http://atelier-phos.com/

教会や少人数グループでの
イスラエルツアーを
計画しませんか。

ご予算や人数に応じて、ご要望にお応えできる聖地旅行を企画、見積もりいたします。充実、お手頃価格、手作りのツアーをなさいませんか。
お気軽にご相談ください。

**(株)ホーリーランド
ツーリストセンター**
担当:石田
TEL:06-6226-1307
FAX:06-6226-1308
E-mail:hctjrm@nifty.com

です。まず、1958年にひとりの未信者が信仰に導かれ、その年の終わりには50人が祈りに集うようになりました。翌1859年の春には、16の祈りになり、アホヒル、バリミーナの町々にも祈りの輪が広がって行きました。

レイマン(一般信徒)たちから始まった祈り会でしたが、すぐにヘンリー・グラタンギネスやブラウン・ローノースといった、霊に燃えた説教者が関わるようになりました。彼らの日曜礼拝は、朝の9時から夜の10時まで。9時から12時までにはユースのための祈り会、12時から2時までは公共の礼拝、2時から4時は祈りの集会、夕方の5時から8時が礼拝、そして最後の一時間が祈りの集会でした。

アルスター・リバイバルの翌年の1860年に作られた、チャリティーの最初の讃美歌、「おお真白き衣のために(O for the Robes of Whiteness)」がリーフレットとして配布されると、瞬く間に多くの集会で歌われるようになりました。そして、1863年に「弁護者(The Advocate)」というタイトルで彼女が書いたのが、表題の讃美歌、「御前に立つとき(Before the Throne of God Above)」なのです。この歌は、20世紀に入ってから福音派の教会の讃美歌として再び歌われるようになり、今も多くの賛美作曲家の心を動かして、Vikki Cookによる心に沁み入るアイルランド民謡調のメロディーや、Faye Lópezによる感動的な合唱曲として、リバイブが続いています。

1869年、チャリティーは、スコットランドのエジンバラで、リバプール出身のアーサー・バンクロフトと結婚しました。彼女の結婚生活の記録は少ないのですが、二度未亡人になったようです。1923年6月20日、カリフォルニア州オークランドでチェニー姓、またはデシエネスというファミリー・ネームで82歳で死亡していることが分かっています。

彼女の信仰を知る記録は残されていません。しかし、1859年のアルスター・リバイバル後、信仰者を励ます多くの賛美を作ったチャリティーは、彼女自身も、当時のリバイバルの動きの中で霊が燃え立たされ、聖霊からのインスピレーションによって、素晴らしい賛美詩を生み出していったのだと思います。「御前に立つとき」は、これから日本の教会でも歌い広まって欲しい、素晴らしい讃美歌です。最後に、原詩からの直訳を紹介させていただきます。

1. 天の神の御座の前に立つとき
私には強力で完全な弁明がある
愛という名の偉大な大祭司、永遠に生きておられる方、
私を弁護して下さる方がおられるのだ
私の名前はその方の手に刻まれ、
私の名前はその方の心に書かれている
この方が天に立っておられる限り
どんな舌も私を天から追い出すことはできない
2. サタンが私を絶望へと誘い、罪悪感にさいなむとき
目を上げて、あの方がおられるのを見る
私のすべての罪を終わらせた方を。
罪無き救い主が死なれたゆえに
罪深い私の魂は自由なものとされた
義なる神はこの方を見て満足され、私は赦された
3. 見よ、かしこにおられる、よみがえられた子羊を！
私の完全な、しみのない、義である方、
偉大な、変わる事のない「私はある」と言われる方、
栄光と恵みの王であられる方を。
この方にある者として、私は決して死なない者とされた
私の魂はこの方の血で買い取られた
私のいのちは、高きにおられるキリストに隠されている
私の救い主であり神であられるキリストと共に

(及川りつ子 訳)






(つづく)

工藤 篤子 著書&音楽CD 好評発売中… ご注文、お問い合わせはAKWM事務局まで

 主よ人の望みの喜びよ 定価 1,500円(税込)	 よき力に守られて 定価 2,500円(税込)	 ほんとうの願い 定価 3,000円(税込)	 神だけが 定価 2,500円(税込)
 カンシオン 定価 2,500円(税込)	 Come To Me 定価 3,000円(税込)	 讃美 Adorar 定価 1,500円(税込)	 讃美のこころ 定価 1,600円(税込) (注※)

注※「讃美のこころ」について…AKWMの在庫は売れました。ご希望の方は、キリスト教書店または出版社イーグループよりお求めください。

賛美セミナー DVD、CDも好評発売中!

 賛美セミナーⅡ DVD 2枚組 15年11月7日大阪セミナー録画 定価 4,000円(税込)	 賛美セミナーⅠ DVD 2枚組 13年11月4日大阪セミナー録画 定価 4,000円(税込)	 賛美セミナーⅠ CD 4枚組 13年11月9日東京セミナー録音 定価 4,000円(税込)
---	--	---

賛美セミナーⅡと賛美セミナーⅠのアイテムを合わせてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。その際は、オンラインストアではなく、メール、電話、ファックスでお申し込みください。

Notice 「賛美セミナー」主催をご希望、あるいはお考えくださる教会・団体が
ありましたら、どうぞいつでもお気軽に事務局まで、ご連絡、ご相談ください。✿

Schedule 工藤篤子 2019年スケジュール

4月	岩手県被災地(詳細未定)
6月	
8日(土)	日本キリスト教団 洲本教会 伝道コンサート
9日(日)	日本キリスト教団 洲本教会 礼拝にてメッセージと賛美
11日(火)	VIP 大阪定例会(コンサート&スピーチ)

9月	
22日(日)	チャーチ・オブ・ゴッド 川崎キリスト教会 賛美コンサート
29日(日)	日本キリスト教会 習志野教会 伝道コンサート
10月	
18日(金)	AKWM主催チャリティー・コンサート
27日(日)	宝塚栄光教会 チャペル・コンサート
12月	
1日(日)	日本イエス・キリスト教団 黒磯教会 クリスマス チャペル・コンサート
23日(月)	奥多摩福音の家 クリスマス・コンサート

2018年秋・冬のコンサート報告

AKWM 第17回チャリティー・コンサート(10月19日、西日本豪雨被災地支援)

主は昨年のチャリティーを大いに祝福してください、51万5千円を被災地におさげすることができました。内訳は、「岡山キリスト災害支援室」へ25万円、「3.11いわて教会ネットワーク」から岡山県真備町に派遣されているボランティアスタッフのために15万円、「キリスト教会・広島災害対策室」に11万5千円です。今回は、コンサート収益金、個人献金のほかに、一つの教会から大きな額の献金がささげられ、コンサート後の12月にも、さらに別の教会から、やはり大きな献金がありました。祈りと共に献金をおさげくださった皆さまに心から感謝し、主をあがめます。同じ時期に、一時ボランティア募集を中断していた「広島災害対策室」がボランティアを再度募集し、仮設住宅に毛布や暖房器具の配布を始めたため、こちらの団体にも献金をおさげすることができました。



被災地では、今も手つかず状態の地域も多く残されており、まだまだボランティアの助けを必要としています。一日も早い復興と、このことを通して、一人でも多くの方々が、真の救い主、イエス・キリストを知ることができますように。

クリスマス・コンサート

12月は、関西の4つの団体、教会でクリスマス・コンサートをさせていただきました。アンケートを通して、合わせて9名の方がイエス様を信じたいと表明されました。主がその方々を、確かな信仰、よき教会へと導いてくださいますように。そのほか、「教会へ行ってみよう」、「聖書を読みたい」の欄に記入された方も多くいらっしゃいましたので、主がその方々も導いてくださることを期待しています。またたくさんの信仰者から「神の臨在を感じた」、「信仰が回復した」というご意見をいただきました。主がご臨在くださり、主ご自身がすべての来場者にお語りくださることを願い、多くの祈りを積み、また、スタッフ、関係者、支援者の皆さんの大きな祈りに支えられて臨んだ奉仕でしたので、ご栄光を顕わして下さった主に、心からの感謝と賛美をささげます。



愛する皆さまへ

いつもAKWMのためにお祈りと尊いご支援をくださり、心からの感謝を申し上げます。昨年末から聖霊によって祈る大切さを思われ、今まで以上に祈る時を持つようにしています。今年も大阪と札幌の往復で忙しい一年になりそうですが、イエス・キリストの軸からぶれないで、すべてを、祈りを通して主に導いていただくことを願っています。すでにくつつかのコンサート予定もありますので、霊、たましい、肉、声が完全に守られますようお祈りください。今年もAKWMの働きをお支えいただけますなら感謝です。

2019年、皆さまの上に、主イエス・キリストの豊かな恵みがありますように! 工藤 篤子



工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 事務局
Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金と奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

〒541-0041 大阪市中央区北浜2丁目3番10号
VIP関西センター5F「ミッション・宣教の声」方
TEL.090-5241-5086 FAX.050-3153-0648

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」
銀行振込口座 三菱UFJ銀行 瓦町支店(店番003)
普通預金 0133752 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」

*三菱UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前の表示をお願いいたします。あるいは事務局にご連絡いただけますなら感謝です。

✉ メールマガジン登録受付中!

office@akworship.com

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。



Website URL
<http://akworship.com/>